

新しい旅行スタイル創出事業

(Base!TOHOKU、ドライブルート、プレミアムコンテンツ)

【Base!TOHOKU新規モデル地域・WEBサイト改修】

今年度新たにモデル地域に設定した、いわき湯本温泉郷、津軽地域の観光情報について地域の関係者と協議しながらBase!TOHOKUサイトへの追加掲載を行いました。プラン参画軒数と販売実績拡大のため連携を強めてまいります。訪日旅行者向けにBase!TOHOKUブランドの訴求を図るため、サイトの多言語化（英・繁・タイ）に着手しています。

【広域周遊ドライブルート・プレミアム体験コンテンツ特集ページ公開】

訪日旅行者の広域周遊を促すため、各県の新幹線駅・空港を起点とした広域周遊ドライブモデルルートを7コース造成し、日本語版特集WEBページを制作・10月1日に公開しました。今後、多言語翻訳化（英・繁・韓・タイ）を行い、日本東北遊楽日（台湾）をはじめ、旅行会社招請事業、商談会にてPRを行ってまいります。

【リンクURL】 <https://www.tohokukanko.jp/driving-route>
<https://www.tohokukanko.jp/premium>



【ドライブルートWEBページ】

【観光体験コンテンツ検討会・ワークショップ】

インバウンドに適した観光体験コンテンツの磨き上げ・造成のため、販売好調なコンテンツ実例を参照しながら課題認識を深めるワークショップ検討会を行いました。各県ごとのDMO・観光協会・宿泊事業者・コンテンツ事業者の方々にコンテンツ自体の魅力はもちろんのこと、WEB予約・決済、間際申込受入、多言語対応の重要性について理解を深めていただきました。



【観光体験コンテンツ検討会】

【観光体験コンテンツオンライン販売導入WEBセミナー開催】

観光体験コンテンツのWEB予約管理システム新規導入を促すためWEBセミナー（9月26日）を開催しました。リクルート、アクティビティジャパン、JTB BOKUNの3社による説明を行い、導入希望者に対してフォローを行うとともに、海外販路拡大に向けた専用セミナーも並行して実施してまいります。

＜開催計画＞新規追加導入向けセミナー（11月28日）

海外販路拡大向けセミナー（10月24日、12月19日）



【オンライン販売導入WEBセミナー】

【宮城県庁復興支援・伝承課事業】

宮城県内の伝承館や震災遺構をはじめとする震災関連施設の来館者向上を目的に、一般旅行者をターゲットにした来訪促進事業を宮城県より受託し事業を開始しました。

今後、東観推のDMP・CRMを活用し、震災関連施設と人気スポットをあわせて周遊できるモデルコースを造成し、それらを特設ページや旅東北内特集記事、パンフレットなどを用いて魅力を発信してまいります。

宿泊業界における観光と金融に関する全国懇談会に出席しました（9月7日）



【菅前内閣総理大臣】



【高橋観光庁長官】

日本旅館協会が、「宿泊業界における観光と金融に関する全国懇談会」を仙台・秋保「伝承千年の宿 佐勘」にて開催しました。菅義偉前内閣総理大臣、観光庁長官、中小企業庁長官、金融庁監督局長等を招き、金融問題をはじめ、コロナ禍で大きなダメージを受けた宿泊業界の様々な問題解決に向けて議論を交わす全国懇談会となりました。

東観推は、東北運輸局とともに、共催として協力し、紺野理事長も第三分科会「東北の復興と観光振興に向けて」にパネラーとして参加、「東北観光における旅行市場動向について」「震災/コロナ禍からの復活を見据えた今後の観光プロモーション戦略」について、震災以後の取組み事例等を発表いたしました。

各分科会を終了後、宣言採択を実施し、全国旅館協会から各省庁へ手交いたしました。

参加者は、全国から、企業・団体・自治体68、金融機関61、宿泊施設156、その他を含めて328名の方々に来場いただきました。

今後も、さまざまな団体等とも連携しながら、東北の観光振興に取り組んでいきます。



【第三分科会】



【第三分科会パネリスト 紺野理事長】



【宣言採択手交の様子】

マレーシア旅行博覧会に出展しました（9月1日～3日）

マレーシアの旅行博覧会（MATTA Fair Kuala Lumpur）へ仙台市と共同ブースを出展し、マレーシアの一般消費者に東北のPRを行いました。

仙台・東北ブースへはほぼ途切れることなく人が来ており、東北各県のパンフレット等を用いて多くの消費者へ直接東北の紹介をすることができ、また、ブース来訪者からの質問の状況から、東北の知名度がかなり高まっていることが実感できました。実際に、JNTOが旅行博会場で実施したアンケートにおいて、「次の訪日旅行でどの地域に行きたいか」の項目で1位北海道、2位関西、3位関東に次ぐ4位に東北が挙げられています。

また、会場では仙台市と共に10社以上の旅行会社を訪問し、各社の担当へ東北のPRを実施しました。中華系の旅行会社ではALPS処理水の報道の影響がかなり見られており、旅行申し込みのキャンセルに一定程度繋がっているとの意見もあり、今後の適切な情報発信の必要性を感じました。他方、これまでと比較して東北を訪れる旅行商品が増えており、現地旅行会社のブースのパネルにも銀山温泉や山形蔵王が採用されているなど、こちらでも東北旅行の需要の高まりを感じました。

2023年、マレーシアから東北への宿泊者数（7月時点）は2019年比で約2倍となっています。東北にとってのこのような好機を捉え、東観推では10月下旬からマレーシア人インフルエンサーを活用した情報発信を実施予定です。引き続き東北広域でのプロモーションにより、マレーシアからの更なる誘客を図ってまいります。



【仙台・東北ブースの様子】



【旅行会社ブース（パネル：山形蔵王）】



【ミニステージでのPR】



【販売されていた旅行商品（一例）】



アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）2023北海道 （プレサミットアドベンチャー：9月4日～10日、本大会：9月12日～14日）

アジアでは初開催となったアドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道大会への参画として、東観推は2年前からアドベンチャートラベル（AT）取組みへの機運醸成を目的に、東北地域一体となった本大会への参加とプレサミットアドベンチャー（PSA）実施に向け準備をしてきました。

本大会前に開催されたプレサミットアドベンチャー（PSA）では、東北エリアで「みちのく潮風トレイルハイックでめぐる三陸海岸7日間」が公認コースとして採択され、アメリカ合衆国を中心とした旅行会社やインフルエンサー9名の方が参加されました。

本大会には64か国・地域から約750人が参加し、3日間にわたって札幌市内にて開催されました。東観推としては、東北事業者と一体となり、会場内にJNTOが設置するジャパンラウンジでの東北ブース運営を中心に参加し、アドベンチャートラベルを中心としたコンテンツや広域ルートのプロモーションを実施しました。

今後も、東北のみちのく潮風トレイルを中心としたAT商品造成促進のための働きかけを各事業者とも情報共有しながら、継続的に実施してまいります。



【浦戸諸島巡り（PSA）】



【ジャパンラウンジ（本大会）】

第2回東北観光DMP操作研修会（山形県）を開催しました（9月14日）

2023年度より東北観光DMPに参画した山形県職員等の東北観光DMPの理解、操作習熟を目的とした研修会を開催しました。

当日は山形県の観光に関わる実務担当者他、東北観光DMPの利用意向がある域内DMOの職員など26名が参加し、DMPを活用した現状把握や仮説設定の演習を実施しました。今後も自治体やDMO等の職員が東北観光DMPを各種観光施策に活用できるよう、サポートしてまいります。



【会議の様子】

第2回東北観光DMP担当者会議を開催しました（9月27日）

東北6県、新潟県および仙台市のDMP担当者およびプロモーション担当者を対象とした会議をハイブリッド方式で開催しました。

第1部の前半では今年度新たにリリースした国内動態日別分析ダッシュボードの操作や今後リリースを予定しているクロス分析ダッシュボードの進捗状況について説明しました。後半では一般財団法人VISITはちのへの西野正紀氏をお招きし、自箇所での東北観光DMPの活用例についてお話しいただきました。

第2部では東北観光DMPに係る来年度予算やダッシュボードの整理、有償データの取扱いについて東観推から説明し、意見交換を行いました。

今後も東北観光DMPの本格活用に向けて、担当者間の連携を密にしながら進めてまいります。



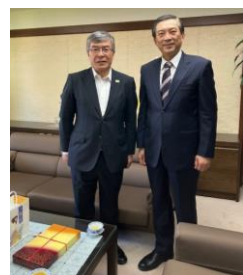
【会議の様子】

台湾関係団体を訪問しました（9月19日）

紺野理事長は台北駐日経済文化代表処（台湾代表処）、台湾観光協会東京事務所を訪問し、台湾代表処では周副代表、台湾観光協会では鄭所長と面会しました。

紺野理事長から2023年度台湾現地における一般消費者向けPRイベント「日本東北遊楽日」についての概要を説明するとともに、イベント開催に伴う現地での関係機関訪問や「日本東北遊楽日」のセレモニー参加についてお願いをしました。協力依頼に対して、各団体からは快諾をいただき、特に台湾代表処周副代表からは、全面的に協力したいとの発言がありました。

引き続き、台湾関係団体との連携を密にしながら、台湾市場に対する訪東北へのプロモーションを強化してまいります。



【台湾代表処 周副代表】

中国現地旅行会社招請（9月5日～8日）

日本への団体旅行も解禁され訪日旅行の需要が高まる中国において、東北の知名度向上を狙いとし、仏教・アドベンチャーツーリズムを主なテーマに、中国現地から旅行会社2社2名を招請。山形県・宮城県・秋田県の取材を実施しました。

秋田県の男鹿真山伝承館・なまはげ館や山形県の羽黒山では、中国では味わえない日本文化を直接体験していただくことにより、東北の独自性のあるコンテンツを強く訴求することができ、宮城県の定義如来西方寺御廟貞能堂が素晴らしいと好評でした。また、仙台市内では8事業者との商談会を行い、今後の取引に有効な情報交換を活発に行いました。

今回の招請で構築した関係の発展を図りつつ、商品造成において東北と中国を結び直行便も重要なことから、航空会社との連携も更に深め、東北の商品造成および送客の働きかけを行ってまいります。



【山伏ガイドの説明（羽黒山）】

中国在日インフルエンサー招請（9月11～15日）

在日のインフルエンサー2名を招請し、「アニメ・有名人・ロケ地・聖地巡礼」、「日本食（地域ならではの）」をテーマに、新潟県・山形県・秋田県・宮城県の観光コンテンツを視察しました。特に好評だった視察先は、銀山温泉でした。中国人の間では山形＝銀山温泉というほど知名度は高く、SNSでも銀山温泉に関して「お勧めの旅館はどこか」、「旅館の温泉は露天風呂付か」等、多くの質問が寄せられるそうです。今回の視察では2軒の旅館の館内取材を行うことができ、よい素材がたくさん撮れたと大変満足されていました。

東北の魅力は「温泉」＋「日本酒」＋「スキー場」＋「雪」。この4つが揃っていて、尚且つ選択肢が豊富な地域は東北しかないということをフォロワーに伝えていきたいとのお話が特に印象に残りました。

訪日中国人は以前のように、物を買う事にお金を使うだけでなく、異文化体験等、母国では経験できないことにお金を使う傾向が最近増えているとのことで、以前のような定番観光コースのプロモーションだけではない工夫が今後は必要だと感じました。日々変化しているニーズに応えられるよう効果的なプロモーションを今後も実施してまいります。



【銀山温泉での取材の様子】

台湾教育旅行招請（9月24日～27日）

台湾から東北への教育旅行を促すことを目的として、（一財）3.11伝承ロード推進機構と連携し、台湾の教育関係者5名を現地から招請し、岩手県・宮城県の震災遺構や伝承施設の視察および学校交流を実施しました。

教育旅行について台湾からの招請を行ったのは初めての取組みとなりますが、台湾側の教育旅行事情やニーズについて把握するために実りの多い招請事業となりました。次年度以降の台湾から東北への教育旅行誘致につながる道筋をつけることができました。



【南三陸病院前日台友好記念碑にて】

「冬の東北」誘致部会開催（9月1日）

オール東北で冬の魅力を発信することで、冬の東北への誘客を促進することを目的に「冬の東北」誘致部会を開催しました。スキー場、宿泊施設をはじめとした観光事業者等、リアル16名、オンライン4名の計20名が参加し活動内容を共有しました。

2022年度シーズンの東北観光DMPを利用した冬季概況の説明と2023年度事業計画についての検討を行いました。その後、各部会員の昨今の事業環境や取組事例の共有を行い、非常に有意義な会議となりました。

冬の東北への多くの来客が期待される中、引続き、国内外へ冬の東北の魅力を発信してまいります。



【会議の様子】

東北教育旅行セミナーを開催しました【福岡会場】（9月11日）

●福岡市内で「東北教育旅行セミナー」を開催（9月11日）

福岡市内のホテルにて「東北教育旅行セミナー」を開催しました。

第1部のプレゼンテーションでは、東観推や東北6県・新潟県担当者、JR東日本、日本航空、全日空より、別会場と同様、東北教育旅行の魅力を伝えるプレゼンテーションを実施したほか、第2部の教育旅行商談会では、32名の東北側事業者と13名の旅行会社が参加するなど、活気あるセールス活動を展開することができました。

参加した旅行会社の担当者からは、「東北の探求学習コンテンツは豊富であるうえ、魅力的であることが理解できた。特に、東北全体で一枚岩となり誘致に取り組んでいる点について、連携面でのメリットを感じた。」「実際に被災した施設（震災遺構）を見て、震災について学ぶことは、九州では体験することができないので、非常に訴求力の高いコンテンツだと思った。」といった感想が寄せられるなど、東北教育旅行の魅力についてPRすることができました。



【福岡会場 商談会】

第3回フェニックス塾（秋田）を開催しました（9月14日、15日）

今年度第3回目となる「フェニックス塾」を秋田県鹿角市で開催しました。

9月14日セミナー・ワークショップ44名、15日フィールドワーク41名が参加しました。各グループの研究テーマも決まり、これからより深い議論を交わしてまいります。

【9/14】

●第一部 セミナー

テーマ：「地域が輝き続けるために必要な観光戦略とは」

講師：株式会社リクルート ジャらんリサーチセンター
センター長 沢登次彦氏

●第二部 ワークショップ（グループディスカッション）

テーマ：チーム毎の研究テーマ設定と現状把握の深化



【沢登氏からのセミナー】



【清水氏からの活動内容聴講】

【9/15】

フィールドワーク

前半は、フェニックスアワード2022を受賞された、かづのDMOが主催している「縄文食体験」を行いました。

後半は、体験を踏まえて、かづのDMOの清水涼太氏に活動内容をお話いただきました。



【縄文食体験】

紺野理事長が講演を行いました（9月12日、29日）

●公益財団法人七十七ビジネス振興財団（9月12日）

仙台市の七十七銀行本店において「インバウンドの状況とオール東北での取組み」と題し、紺野理事長が講演を行いました。昨今のインバウンドの状況に加え、これまでに東観推が行ってきた震災後のインバウンド盛り上げやコロナ禍での活動、東北観光の早期回復に向けた広域連携の強化等について話しました。



【七十七ビジネス振興財団セミナーの様子】

●淑徳大学（9月29日）

埼玉県入間郡三芳町の埼玉キャンパスにおいて「仙台空港を基軸にした東北インバウンド観光の現状と取組み事例」と題し、特別講義を行いました。東日本大震災からの復興へ思いをはせたり、学生にも分かりやすく心に刺さる内容だったと大変好評でした。



【淑徳大学講義後、受講生と一緒に】

国内外に向けてSNSで東北の観光情報を発信しています

東観推ではFacebookやInstagram、Weiboを活用して日本国内および海外に向けて観光情報を発信しています。9月は各SNSともに、「天童温泉エリアの観光・体験コンテンツ」や「一切経山のトレッキング」について紹介した他、紅葉スポットに関する情報を発信しました。中でも「只見線」と「土津神社」の紅葉の投稿には多くの関心を寄せていただき、東北の紅葉がコンテンツとして高い魅力を持っていることが改めて確認できました。また、日本語のFacebook、Instagramでは「#東北PR局」のハッシュタグが付いた投稿を紹介しています。皆さまぜひ、「#東北PR局」を付けて東北の魅力を発信してください！

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩楽GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【山寺】



【一切経山】



【只見線】

TravMedia「東北プレスセンター」から9月の発信を紹介します

東観推では、多くの有力メディアが情報収集の場として利用しているTravMediaにて、英・米・仏市場を中心に「東北プレスセンター」として情報発信を行っています。

9月は東北の紅葉をテーマに「A Must See! The spectacular autumn leaves of Tohoku and Niigata are a beautiful sight to behold」として発信を行いました。

記事では、これから本格化する東北の紅葉シーズンに先駆け、山に関連した紅葉スポットの紹介を行いました。

東北屈指の紅葉スポットである「鳴子・栗駒山」や、紅葉の中を走る秘境ローカル線の「JR只見線」、山全体がパワースポットとも言われる「弥彦山」のスポットについて、インパクトのある写真と記事で東北の紅葉の魅力を訴求しました。

今後も東北の季節感豊かな風景の紹介など海外メディアへの情報発信を継続し、東北が魅力的な訪問地であることを世界に印象付けられるよう、広域での効果的な情報発信に取り組んでまいります。



04 Sep 2023

A Must See! The spectacular autumn leaves of Tohoku and Niigata are a beautiful sight to behold

Tags: japan, japanview, tohokutourism, tohokujapan, miyagi, narukogorge, Colorful, Autumn, autumncolors, tadamine, fukushima, localtrain, Niigata, redleaves, Climbing, ropeway

Naruko and Mt. Kurikoma, two of Tohoku's best autumn foliage spots

Naruko (Osaki City, Miyagi Prefecture) is accessed by transferring from the Tohoku Shinkansen Line to the Rikuu-East Line, which offers wonderful views of the rural landscape from the train windows. Here you will find Naruko Gorge, which is renowned as one of the best places in Tohoku for autumn foliage.

【東北の紅葉の記事】

人事異動のお知らせ

東北観光推進機構の推進本部において人事異動がございましたのでお知らせいたします。

- <転出>
- ・9月30日付 東北ブランド戦略部統括マネージャー

武澤 秀一

(NTT東日本へ帰任)
- <推進本部内異動>
- ・10月1日付 東北ブランド戦略部アシスタントマネージャー

滝沢 俊明

(DX戦略部より異動)

TOHOKU Fan Club 活用について

●TOHOKU Fan Clubで情報を発信してみませんか？

TOHOKU Fan Clubの会員へ地域のイベント情報を発信したり、アンケートの依頼、モニターツアー参加の呼びかけ等をしていませんか？アンケートは、ターゲットを絞って回答を依頼することもでき、結果を効果的なマーケティングデータとして活用することができます。アンケートの実施、情報発信、モニタープランの参加呼びかけ等を連動させることで、地域への誘客を今まで以上に促進させてみてはいかがでしょうか。

投稿とオファーについては、東観推の会員区分に応じて、一定回数無料でご利用いただけます。

詳しくはお問い合わせください。

	① 投稿	② アンケート ※4月1日から料金を改定しています	③ オファー
区分	ファンへの情報発信 (※Facebook)	ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ作成前のテスト マーケティング・認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料	10回まで 15万円 + ポイント原資 30回まで 35万円 + ポイント原資	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料



【9/5 岩手県・台湾会員向け
(繁体字)の投稿「2023年
に行くべき盛岡・岩手宝探しの旅」】

【お問い合わせ先】東北ブランド戦略部 E-mail brand@tohokutourism.jp

東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご利用ください

多言語電話通訳サービス 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

- 【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者
- 【利用時間】24時間365日対応
- ※ただし、大型小売店、医療機関は対象外
- 【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担
- 【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語
- 【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【お申し込みはこちらをご覧ください】

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0443/443_101_file.pdf



「旅東北NEWS」VOL.061 2023年10月11日発行
【発行】一般社団法人東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階
【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook
東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！
<https://www.facebook.com/tohokukanko/>
「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！